

# 労災、交通事故撲滅へ

## 草別組と草友会 安全大会

【小樽発】(株)草別組(岩内、小松知史社長)と草友会(佐藤一会長)は29日、岩内地方文化センターで労働安全衛生大会を開催した。同社や協力会社の役員ら約160人が参加し、労働災害と交通事故の撲滅に向け決意を新たにした。

小松社長＝写真＝は、時間外労働の上限規制や担い手確保の問題に触れ「夢と誇りを持って活躍できるよう働き方改革の推進や生産性向上の取組を進める」と述べた。

また、安全衛生意識の取組やリスク軽減措置の充

実・強化の重要性を伝え

「地域社会にとって重要な役割を果たす建設従事者を悲惨な労災に遭わせてはならない」と訴えた上で「基本に立ち返り、安全を最優先に決められた法令やルールを順守して全現場で災害ゼロを達成する」と決意を示した。

草友会の佐藤会長は「無事故・無災害でことし1年、皆さんと共に乗り切っていきたい」とし、参加者に協力を求めた。

大会では、優良協力業者の(株)ナカジマと(株)丸井・増井工務店を表彰し、積極的



な安全衛生活動に取り組んだ功績をたたえるとともに、岩内警察署の渡邊第一署長があいさつした。

引き続き、南祐希交通課長、小樽労基署員知安支署の嵯峨宏之支署長が安全講話を行った。

最後に、草別組土木部の山村智彦係長が職場から労働災害を根絶させるため「作業手順の明確化と周知」について提言するとともに、大橋光則課長が安全決議宣言。参加者全員で無事故・無災害の達成を誓った。